

良好とは言えない状況ではありますが、人口の減少や高齢化、町内経済の停滞など、町の現状を考えると今後も雇用の場を確保していかなければならないことから、どうしても町が主導してチャレンジしなければならぬと考えます。このようなことを踏まえて、農業関連を中心とする特産品の開発と生産・販売、これらを観光客へ提供するための受入体制の強化を今回のプロジェクト事業に反映させていきたいと考えています。事業内容につきましては、「白神山地の里」であることを重視した、食と農業・観光を結びつけた「元気を生み出す地域づくり」で県と協議をしていきたいと考えていますのでご理解をお願いします。

◆秋田県町村電算共同化について

近年、行政事務を円滑に遂行するために、電子計算機の使用が不可欠となっておりますが、その反面、費用も増大傾向にあります。県内町村の財政を圧迫してきましたことから、秋田県町村会を中心に県内12町村での電算共同化によるコスト削減の方策を探るため、2年ほど前から調査研究を行ってきました。その結果、秋田県町村会内に新たに電算推進室を設置し、電算共同化を推進する準備を進めていましたが、早期移行希望の町村もあり、平成25年度の本格稼働に向け、事業計画を策定し、電算システムの調達に入ることになりました。

共同化の方法としては、先進事例等を参考に、近年通信回線の高速化・安全化が図られていること、民間のデータセン

ターも情報漏洩防止対策等に万全を期していること、また、昨年の震災を教訓に国も推奨している住民データを庁舎外に置く、通称「自治体クラウド」方式で共同化を進めることになりました。本町は平成26年度からの移行を予定していますが、一部町村では平成25年度の移行を予定していることから、一部事務組合を設立して、電算共同化の推進を図ることとし、組合設立については、平成25年4月の設立を予定しています。

◆主な議案内容

◎町道路線の変更について（小比内線）
◎教育委員会委員の選任について
10月2日をもって任期満了となるため、

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により委員の再任について異議なく了承

- 教育委員会委員
・加藤康代さん（上中畑・再任）
・鎌田孝人さん（荒町・再任）

◆一般会計補正予算

3億644万1千円を増額し、予算総額を36億1,414万円としました。

◆歳入◆

当初算定による普通地方交付税と、これに関係する臨時財政対策債及び前年度繰越金の増額のほか秋田県土地開発公社の解散に伴う返還金を計上しています。

◆歳出◆

主なものについては、人事異動に伴う人件費の組み替えと、平成23年度決算にかかる余剰金の処分として財政調整基金、今後の行政ニーズに対応していくための各種基金への積立金を計上しています。

総務費には、大沢コミュニティホームの解体修理工事など町有施設の維持修繕にかかる経費のほか、町制施行50周年記念事業の準備経費及び町民バスを更新するための予算を計上しています。

衛生費では、予防費の増額のほか、水道施設の改修工事に伴う特別会計への繰出金、下水処理施設普及促進奨励金を増額しています。

農林水産業費は、農業振興事業費補助金、青年の就農に対する給付金、農業集落排水施設の維持修繕に伴う繰出金、またいたけ生産施設の雇用維持のための助成金のほか造林事業費、林道米代線の開通に伴う経費を計上しています。

商工費には、昨年に引き続き地域のお買い得商品券購入に対する助成経費を、観光費には、健康保養館施設内の補修経費、藤里開発公社の組織維持交付金を計上しています。

土木費では、道路橋梁関係の維持補修経費のほか急傾斜地崩壊対策とがけ崩れ対策に係る整備費を計上しています。

教育費では、小中学校の暖房機器を更新するほか、町史編纂の経費を増額しています。また、学校給食センター建築の予算の組替え、食品ゴミの再資源化を図るための経費を計上しています。

◆主な補正内容について

(単位：千円)

◆歳入

町税	6,434
普通地方交付税	181,649
(総額)	1,903,649
一般会計前年度繰越金	108,703
(総額)	128,703
臨時財政対策債	2,149

◆歳出

大沢コミュニティホーム解体修理事業費	8,079
町民のバス購入費	22,726
財政調整基金積立金	65,000
藤里町お買い得商品券助成金	8,800
健康保養館男女脱衣場敷物代替工事	2,625
温泉利用施設基金積立金	50,000
小・中学校暖房機器等備品購入費	7,624